

第11表

インバランス収支計算書

2020年4月1日から
2021年3月31日まで

(単位 百万円)

費用の部		収益の部	
項目	金額	項目	金額
営業費用	288,464	営業収益	329,135
地帯間購入電源費	94,383	地帯間販売電源料	106,189
他社購入電源費	190,655	他社販売電源料	41,942
(インバランス対応取引費用)	(17,652)	(インバランス対応取引収益)	(-)
(インバランスの買取りに係る費用)	(131,056)	託送収益	175,897
社内取引費用	3,424	接続供給託送収益	175,897
(インバランス対応相当額取引費用)	(-)	(インバランスの供給に係る収益)	(175,897)
(インバランスの買取相当額取引費用)	(3,424)	(インバランスリスク料に係る収益)	(1,148)
		社内取引収益	5,105
		(インバランス対応相当額取引収益)	(-)
		(インバランスの供給相当額取引収益)	(5,105)
		(インバランスリスク料相当額取引収益)	(21)
営業利益	40,671		

注1：インバランス収支計算書の算定

インバランスの供給に係る電力量及びインバランスの買取りに係る電力量については、集約期間における三十分を単位とした同一の時間帯において、バランシンググループ毎の電力量を積み上げる方法で算出している。

財務諸表作成時点で未確定のインバランス料金に係る精算額は見積値により計上している。なお、2020年度における確定額は、営業費用290,939百万円（地帯間購入電源費94,383百万円、他社購入電源費193,130百万円、社内取引費用3,424百万円）及び営業収益332,405百万円（地帯間販売電源料106,189百万円、他社販売電源料41,942百万円、託送収益179,167百万円、社内取引収益5,105百万円）である。

注2：インバランス収支計算書におけるインバランスの供給に係る電力量は6,943百万kWh、インバランスの買取りに係る電力量は9,776百万kWhである。

注3：2020年度におけるインバランスの供給に係る電力量の確定値は7,392百万kWh、インバランスの買取りに係る電力量の確定値は10,180百万kWhである。

注4：インバランス収支計算書におけるインバランスに係る債権の貸倒損及び貸倒損引当から貸倒損引当戻入を控除した額は16,091百万円である。